

## 事後評価概要資料

番号	2002		担当課名 河川砂防課		
事業名	社会資本整備総合交付金事業(広域河川改修事業)	事業主体	埼玉県		
路線・河川・地区名	一級河川 福川	事業箇所	深谷市、熊谷市、行田市		
事業完了年	平成24年3月	事業完了後の経過年数	2年		
事業概要	目的	水系一貫した計画的な河川整備を推進することにより、治水安全度を向上させ、流域内の浸水被害軽減を図る。			
	必要性	昭和22年のカスリーン台風により、福川流域では浸水面積1,957haに及ぶ甚大な被害を受けたことから、治水安全度の向上が必要である。			
	効果	時間雨量50mm程度の降雨により発生する洪水を安全に流下させることができる。			
	事業内容	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">総事業費</td> <td style="width: 20%;">18,127百万円</td> <td style="width: 30%;">事業期間</td> <td style="width: 20%;">昭和37年度～平成23年度(50年間)</td> </tr> </table> 河川改修(河道拡幅 L=20.8km、伏越 1箇所、橋梁架換 37橋、堰 8箇所、樋管 17箇所) 調節池 1箇所(65,000m <sup>3</sup> )	総事業費	18,127百万円	事業期間
総事業費	18,127百万円	事業期間	昭和37年度～平成23年度(50年間)		
事業概要図					
事後評価項目	事業の効果の発現状況	・河川整備により、同程度の降雨に対する浸水被害が大きく軽減 S41年6月(台風4号) : 1時間雨量32mm、2時間雨量53.2mm、総雨量268.1mm、浸水面積505ha H23年8月(台風12号) : 1時間雨量34mm、2時間雨量58mm、総雨量178mm、浸水面積1ha未満(内水)			
	効果分析の要因の変化	<b>【再評価時(平成15年度)との比較】</b> ・総事業費 18,482百万円      18,127百万円(355百万円減) ・事業完了年 平成20年      平成23年(3年延長) ・費用対効果 B/C 4.08      5.51(1.43増)			
	事業実施による副次的効果	・河道の拡幅による開放的な景観の形成 ・河川美化意識の向上(ボランティア団体による清掃活動など)			
評価結果及び考察	(評価結果) ・事業による浸水被害の軽減効果が実降雨により確認された。 ・副次的効果として、河道の拡幅により開放的な景観が形成され、河川に対する美化意識が向上した。 (考察) ・効果の確認により、河川改修や調節池の整備が浸水被害の軽減に対して有効であることが明らかとなった。 ・他の河川においても、引き続き、事業の効率性、透明性を確保しつつ、その推進を図り、浸水被害の軽減に努めていく必要がある。				
特記事項					